

逆計算

逆計算機能（間接費での調整）

逆計算機能では予定価格になるように工事価格を調整します。
ここでは、間接費で調整する逆計算方法をご説明いたします。

①「本工事費内訳書」画面にて

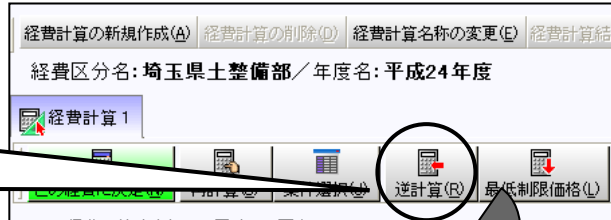


をクリックし、経費計算を実行します。

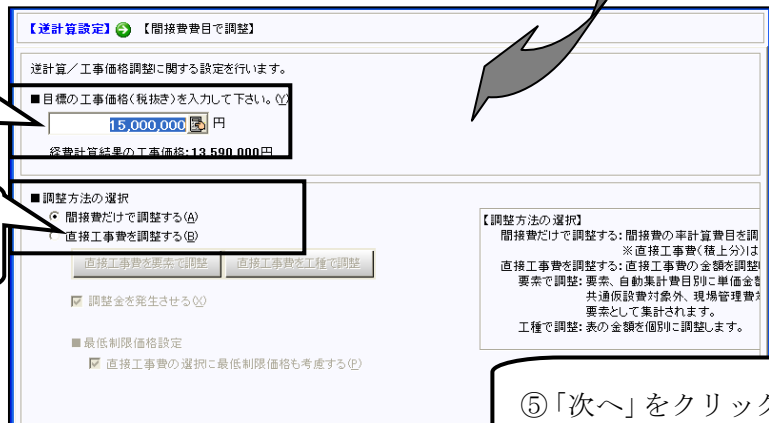
②経費計算画面で、



をクリックします。



③目標の工事価格（税抜き）
を入力します。



④ **間接費だけで調整する(A)**
をクリックします。

⑤「次へ」をクリックします。

【逆計算設定】 間接費費目で調整

逆計算／工事価格調整に関する設定を行います。

■ 目標の工事価格(税抜き)を入力して下さい。 15,000,000 円

経費計算結果の工事価格: 13,590,000 円

■ 調整方法の選択

間接費だけで調整する(A)

直接工事費を調整する(B)

直接工事費を要求で調整

直接工事費を工程で調整

調整金を発生させる(C)

■ 最低制限価格設定

直接工事費の選択に最低制限価格も考慮する(D)

【調整方法の選択】

間接費だけで調整する: 間接費の率計算費目を調整する。
※ 直接工事費(積上分)は直接工事費を調整する。直接工事費の金額を調整要素で調整: 要素、自動集計費目別に単価金額共通仮設費付外、現場管理費を要素として集計されます。
工程で調整: 表の金額を個別に調整します。

目的の工事価格になるように間接費を調整します。 この設計書の工事価格は「調整後の工事価格」になります。

■ 目標の工事価格(税抜き) 15,000,000 円 ■ 調整後の工事価格 15,000,000 円

元の工事価格との差額分を率計算費目で自動的に調整します。 調整する金額: -1,410,000 円
金額を直接入力すると、その個は固定となり、他の費目で調整されます。

費目名	金額	設定金額	自動調整
1 直接工事費	7,238,044	7,238,044	
2 共通仮設費	1,644,000	1,644,000	
3 共通仮設費(積分)	455,000	455,000	
4 安全費	455,000	455,000	
5 共通仮設費(率分)	1,189,000	1,189,000	しない
6 純工事費	8,982,044	8,982,044	
7 現場管理費	3,098,000	3,098,000	しない
8 工事原価計	11,980,044	11,980,044	
9 一般管理費等	1,609,956	3,019,956	する
10 金額調整額			
11 工事価格	13,590,000	15,000,000	
12 消費税相当額	679,500	750,000	
13 工事費合計	14,269,500	15,750,000	

⑥「自動調整」欄の「する」「しない」
を変更することで、
共通仮設費・現場管理費も
工事費調整の対象にすることができ
ます。

⑦表示された調整結果が表示さ
れます。

決定(N) をクリックすると
調整結果を工事に反映します。

逆計算

逆計算機能（直接工事費での調整）

直接工事費を調整し、逆計算をすることが出来ます。

ここでは、直接工事費で調整する逆計算方法をご説明いたします。

①「本工事費内訳書」画面にて



をクリックし、経費計算を実行します。

②経費計算画面で、「逆計算」をクリックします。

③目標の工事価格（税抜き）を入力します。

【逆計算設定】 【目標の直接工事費を選択】 【直接工事費を調整】

計算／工事価格調整に関する設定を行います。

■目標の工事価格(税抜き)を入力して下さい。◎

15,000,000 円

経費計算結果の工事価格:10,500,000円

経費計算の新規作成(A) 経費計算の削除(D) 経費計算の再作成(R)

経費区分名: 埼玉県土整備部 / 年度名: 2024

経費計算 1

この経費に決定(N) 再計算(S) 条件選択(L) 逆計算(R) 最低制限価格(L)

④調整方法を「直接工事費を調整する」を選択し、最低制限価格設定にて自治体を選択します。

■調整方法の選択

間接費だけで調整する(A)

直接工事費を調整する(B)

直接工事費を要素で調整 直接工事費を工種で調整

調整金を発生させる◎

■最低制限価格設定

直接工事費の選択に最低制限価格も考慮する◎

最低制限／調査基準価格設定(L)

埼玉県 - 平成24年1月

調査基準価格

【調整方法の選択】

間接費だけで調整する: 間接費の単計算費目を調整
※直接工事費(種上分)は直接工事費を調整する: 直接工事費の金額を調整
要素で調整: 要素、自動集計費目別で単価金額を調整
工種で調整: 表の金額を調整
共通係数調整: 共通係数を調整
要素として: 要素として調整
工種で調整: 表の金額を調整

⑤「次へ」をクリックします。



「Excel 出力」をクリックすると、計算結果を Excel に出力します。

【逆計算設定】 【目標の直接工事費を選択】 【直接工事費を調整】

目標の工事価格になる直接工事費の最高値～最安値を表示しています。
最低制限価格が変化する場合、その境界となる値も表示されています。

計算設定表示(O) 一覧再作成(R)

◆最低制限価格(割合表示) 12,508,000(100%)

選択	直接工事費	最低制限価格	工事価格	判定	備考
■結果1					共通16.06% 現場34.30% 一般13.33%
	8,100,872		15,001,000	×	工事価格が目標と異なる
	8,100,871	12,508,000	15,000,000	○	直接工事費の最高値
	8,100,684	12,508,000	15,000,000	○	直接工事費の最安値
	8,100,683		14,999,000	×	工事価格が目標と異なる

ヘルプ(H) Excel出力(E) マニュアル(M) 戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

⑥目標の工事価格になる最高値、最安値と最低制限価格の割合を表示します。判定欄の○のいずれかを選択して、「次へ」をクリックしてください。

【逆計算設定】 【目標の直接工事費を選択】 【直接工事費を調整】

目的の工事価格にするための直接工事費の調整を行います。 この設計書の工事価格は「調整後の工事価格」になります。

■目標の工事価格(税抜き) ■調整後の工事価格

872,236,000 円 872,236,000 円

各工種の金額・率をダブルクリックすると、値を直接訂正できます。 直接訂正した値は固定となり、他の費目で調整されます。

再計算(S) すべての工種を調整対象としない(A) 訂正前に戻す(D)

按分対象	名称	反映前の金額	構成比率	反映後の金額	訂正率	費目名	率	金額
<input checked="" type="checkbox"/>	② 本工事費	456,864,628	87.73%	456,477,750	99.92%	1 直接工事費		520,343,926
<input type="checkbox"/>	② 1-トンネル(NATM)	456,864,628	87.73%	456,477,750	99.92%	2 共通仮設費計		90,852,535
<input type="checkbox"/>	② 2-トンネル工	277,613,982	53.31%	277,377,362	99.92%	3 運搬費		1,792,970
<input type="checkbox"/>	② 3-掘削・支保工	178,001,007	34.18%	177,849,188	99.91%	4 準備費		51,708
<input type="checkbox"/>	② 4-掘削・支保	178,001,007	34.18%	177,849,188	99.91%	5 事業損失防止施設費		8,356,200
<input checked="" type="checkbox"/>	掘削等(発)	15,171,416	2.91%	15,158,520	99.92%	6 現場管理費		1,898,624
<input checked="" type="checkbox"/>	電気式集塵	717,860	0.14%	717,236	99.92%	7 現場管理費		1,898,624
<input checked="" type="checkbox"/>	ずり運搬工	787,696	0.15%	787,020	99.92%	8 現場管理費		1,898,624
<input checked="" type="checkbox"/>	掘削等(発)	17,370,800	3.34%	17,356,080	99.92%	9 現場管理費		1,898,624
<input checked="" type="checkbox"/>	電気式集塵	894,960	0.17%	894,160	99.92%	10 現場管理費		1,898,624
<input checked="" type="checkbox"/>	ずり運搬工	982,000	0.19%	981,120	99.91%	11 現場管理費		1,898,624
<input checked="" type="checkbox"/>	掘削工	29,447,264	5.65%	29,422,184	99.92%	12 現場管理費		1,898,624

他の項目を自動的に変更する(D)

ヘルプ(H) マニュアル(K) 戻る(B) 決定(N) キャンセル(Q)

⑦調整画面が表示されますので、「決定」をクリックします。

経費計算の新規作成(A) 経費計算の削除(D) 経費計算名称の変更(E) 経費計算結果の比較(H) ヘルプ(P) 閉じる(C)

経費区分名: 一般土木(国交省) / 年度名: 平成27年度

この経費に決定(N) 再計算(S) 条件選択(L) 逆計算(B) 最低制限価格(L) Excel(X) 簡易表示(K) 詳細表示(D) 全表示(Z)

この経費に決定を叩いて反映して下さい。

費目名	率	金額	計算式(数値)
条件選択		520,343,926	
		90,852,535	46,432,535 + 44,420,000
		1,792,970	
		51,708	
		8,356,200	
		1,898,624	
8 役務費		4,510,975	
9 営繕費		513,000	
10 共通仮設費率分		29,309,058	
11 共通仮設費率分	8.44%	44,420,000	((526,309,526 * 8.44 / 100) - 0) *
12 純工事費		611,196,461	520,343,926 + 90,852,535
13 現場管理費		1,898,624	74 / 100) * 1
14 積み上げ			
15 現場管理			
16 現場管理			
17 工事原価		979,000	
18 一般管理			
19 工事価格			

⑧「この経費に決定」ボタンで工事に反映します。

確認

逆計算あるいは最低制限/調査基準価格により、直接工事費を調整した経費計算結果です。この計算結果を反映すると、直接工事費に計上されている表や単価の金額が変更されます。

反映する前の設計書を、別の設計書として保存しますか?

保存する(Y) 保存しない(N)

逆計算する前の設計書をコピーで保存します。